

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	岡崎市における歴史的風致の維持向上とまちづくりの推進												
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	岡崎市												
計画の目標	歴史的な街なみや建造物等の保存・修景等、本市固有の歴史文化資産が織り成す「歴史的風致」を守り育て、美しく風格ある岡崎を創生する。 そして、訪れる人々に感動を与えられるようなまちづくりを行い、地域の活性化や観光振興を推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	177	A	175	B	0	C	2	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	1.12	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (H33当初)
1	本地区の歴史的資源に関する市民満足度評価を65%（H28）から70%（H33）に拡大 「本地区の歴史的資源の豊かさ」に対する市民意識調査による評価（アンケート調査により、「大いに感じる」又は「それなりに感じる」と回答した人の割合）	65%	%	70%
2	観光客数として岡崎城の入場者数を18万6千人から20万人に拡大 岡崎城入場者	186567人／年	人／年	200000人／年
3	「景観法」に基づく「景観重要建造物」及び「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」に基づく「歴史的風致形成建造物」の指定件数 景観重要建造物及び歴史的風致形成建造物の指定件数	8件	件	18件

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	岡崎市	直接	岡崎市	—	—	歴史まちづくり普及啓発 事業	シンポジウム、歴史まちづく り映像制作	岡崎市		■	■	■	■	2		—	
		市民の歴史まちづくりに対する啓発を図る。																		
													小計					2		
													合計						2	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
整備計画の策定主体の所管部署において事後評価を実施し、岡崎市社会資本整備総合交付金評価委員会にて評価内容を審議し評価結果の取りまとめを行う。		令和4年1月	
		公表の方法	
		岡崎市ホームページで公表	

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>歴史文化資産解説板整備や建造物の復原や修景により、本地区の歴史的資源に関する市民満足度評価の指標値は低下したものの、その内訳となる「大いに感じる」と回答した人の割合が増加したことや、景観重要建造物や歴史的風致形成建造物の修理や修景に対する補助金制度があることにより、指定に対するデメリットよりもメリットが大きいと民間所有者が考えたことや、歴史的な建造物を残していく意識が強まったことにより指定件数が増加したと考えられる。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

・歴史的なまちなみを引き立たせる核となる景観重要建造物や歴史的風致形成建造物を際立たせる無電柱化整備や、道路美装化を集中的に行う。
 ・ウィズコロナ、アフターコロナ時代においても観光客を確保するために国内旅行、特に県内などの近場の方を主軸に、いずれ復活する外国人観光客も見据え、埋もれている本市の魅力をSNSなどの媒体を使用し、関心を寄せてもらう活動に取り組む。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	本地区の歴史的資源の豊かさに対する市民満足度評価 新型コロナウイルス感染症の影響による外出機会の減少が主な原因として考えられる。また、モニター会員を対象としたアンケート調査結果であるため、事業内容についての周知度が低く、本地区外の市民も含まれており目標未達成となったと考えられる。
	最終実績値	
2	最終目標値	岡崎城の入場者数 新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的な観光客数の減少や外出機会の減少が主な原因として考えられる。また観光客数の増加が見込まれる時期に施設が閉鎖していたことも大きく影響していると考えられる。
	最終実績値	
3	最終目標値	景観重要建造物及び歴史的風致形成建造物の指定件数 民間の歴史的に重要な建造物を所有する方々の維持・活用していく意識が当初の想定より習熟していたことや、建造物への修景に対する補助金制度があることを、メリットと捉える所有者が多くいたことが考えられる。
	最終実績値	